

ポスターセッション

8月30日(金)

- ・ 各自、ポスター演題番号に従い指定の示説時間帯にポスター前に立ってください。
- ・ ポスター優秀発表賞審査の対象となる学生・院生は、座長の指示に従い、説明4分、質疑応答3分にて順番に説明してください。

一般ポスター(P-01～P-20)

	示説時間帯
奇数番号	12:30～13:40
偶数番号	13:00～14:10

審査グループ	示説時間帯	座長
A(A1～A8)	12:30～13:40	佐藤 洋美(千葉大院・薬・臨床薬理) 行方 衣由紀(東邦大・薬・薬物)
B(B1～B9)	13:00～14:10	中原 努(北里大・薬・分子薬理) 天ヶ瀬 紀久子(立命館大・薬・病態薬理)
C(C1～C7)	12:30～13:40	関口 富美子(近畿大・薬・病態薬理) 坂本 多穂(静岡県大・院・生体情報分子解析)
D(D1～D9)	13:00～14:10	津田 誠(九州大院・薬・ライフイノベーション) 山口 拓(長崎国際大・薬・薬物治療)
E(E1～E7)	12:30～13:40	小山 豊(神戸薬科大・薬理) 松尾 由理(北陸大・薬・薬理)
F(F1～F9)	13:00～14:10	大野 行弘(大阪薬科大・薬品作用解析) 金田 勝幸(金沢大院・薬・薬理)

ポスター発表プログラム

【ポスター会場:アリーナ】

一般ポスター演題(P-01~P-20) 示説時間帯 奇数番号:12:30~13:40
偶数番号:13:00~14:10

- P-01 カテコラミン代謝物の平滑筋収縮作用に関与する α -アドレナリン受容体 (α -AR) サブタイプの検討: 主としてラット胸部大動脈の収縮反応を指標とした評価
○八巻史子、塩田菜々子、張瀟月、吉岡健人、小原圭将、田中芳夫
東邦大・薬・薬理
- P-02 肺高血圧症モデルラットの週齢差と病態形成の関連について
○川出有希子¹、山村彩²、鈴木良明¹、山村寿男¹
¹名市大院・薬・細胞分子薬効解析、²愛知医大・医・生理
- P-03 未熟児網膜症モデルラットにおいて網膜血管内皮依存性拡張反応が減弱する
○森 麻美¹、中野歩希¹、浅野大樹¹、森田 茜¹、坂本謙司^{1,2}、中原 努¹
¹北里大・薬・分子薬理、²帝京大・薬・医薬品作用
- P-04 虚血性急性腎障害に併発する血管内皮機能障害について
○中川恵輔、下村 彩、山本淳彦、大喜多 守、松村靖夫
大阪薬大・病態分子薬理
- P-05 GDP による膀胱平滑筋の収縮メカニズム
○川越健太郎¹、牧 知子²、加藤健一³、森田浩光⁴、梶岡俊一¹¹
九州大学大学院医学研究院臨床薬理学講座、²総合せき損センター 泌尿器科、
³福岡医療専門学校、⁴福岡歯科大学 総合歯科学分野
- P-06 敗血症誘発性骨格筋炎症反応に対する性ホルモンの影響
○坂本多穂、桑原泰斗、日比千尋、黒川洵子
静岡県大・薬・生体情報分子解析学
- P-07 Allergen または poly(I:C) 曝露誘発気道炎症に対する dasatinib の効果
○西本裕樹、柳 沙耶佳、石塚愛美、上田敬太郎、木村元気、木澤靖夫
日本大・薬・機能形態

- P-08 炎症応答としての活性イオウ分子によるカルモデュリンキナーゼ II 活性制御
○荒木笙馬¹、高田剛²、土屋幸弘¹、渡邊泰男¹
¹昭和薬科大・薬・薬理、²東北大・医・環境医学
- P-09 骨芽細胞分化における内向き整流性 Kir2.1 K⁺チャネル発現亢進の役割
○鬼頭宏彰、大矢 進
名古屋市大院・医・薬理
- P-10 脂肪組織由来間葉系幹細胞の分化過程における Nuclear receptor 4a の役割
○山口賢彦、寺阪祐紀、西山麗紗、黒川洵子
静岡県大・薬・生体情報分子解析学
- P-11 [N-Methyl-³H]scopolamine ([³H]NMS) を用いた抗精神病薬の抗コリン作用の評価
○小原圭将、島田刀摩、堀口早紀、五十嵐巧、八巻史子、田中芳夫
東邦大・薬・薬理
- P-12 新規 δ オピオイド受容体 (DOR) 逆作動薬の創製とその鎮咳作用について
○平山重人¹、東 永華¹、二階堂 潤²、根本 徹¹、池田弘子²、亀井淳三³、藤井秀明¹
¹北里大・薬・生命薬化、²星薬大・薬物治療、³星薬大・生体分子薬理
- P-13 エンドセリン ETB 受容体拮抗薬 BQ788 による頭部外傷マウスにおける血管修復因子 Angiopoietin-1 の発現増加および Tie-2 受容体の活性化
○道永昌太郎¹、田邊彩美¹、山本隼人¹、龍 亮太郎¹、水口博之¹、小山 豊²
¹大阪大谷大・薬・薬理、²神戸薬科大・薬理
- P-14 幹細胞由来神経移植と性ホルモン薬を組み合わせたパーキンソン病治療法の検討
○西村周泰^{1,2}、高橋 淳¹
¹京都大学・CiRA、²現所属 京都薬大・統合薬科
- P-15 脂肪酸結合蛋白質 3 欠損マウスにおける恐怖記憶消去障害のメカニズム
○矢吹 悌¹、松尾和哉¹、大和田祐二²、福永浩司¹
¹東北大院・薬・薬理、²東北大院・医・器官解剖学
- P-16 骨髄造血幹細胞由来ミクログリア様細胞から分泌される TGF- β 1 による内在性ミクログリアの A β 貪食の促進
○高田和幸¹、黒田絵莉子²、河西翔平¹、末吉真梨²、植野文貴²、西村周泰¹、戸田侑紀²、北村佳久³、下濱 俊⁴、芦原英司¹

¹京都薬大・統合薬科、²京都薬大・病態生理学、³立命館大・薬・薬効解析、⁴札幌医大・神経内科

- P-17** 神経傷害による痛みおよび骨量減少に対するアミトリプチリンの治療効果
○兒玉大介、大井義明、樫 彰
愛知学院大・薬・応用薬理
- P-18** High mobility group box-1 は三叉神経傷害に起因する痛覚異常の発症に寄与する
○中村庸輝¹、河内貴弘^{1, 2}、中島一恵¹、劉 克約³、和氣秀徳³、西堀正洋³、入舩正浩²、森岡徳光¹
¹広島大院・医・薬効解析科学、²広島大院・医・歯科麻酔学、³岡山大院・医歯薬・薬理
- P-19** 植物の「三重反応」を誘導する新規プラズール系化合物の構造活性相関研究
○王 敬銘、星 智樹
秋田県大・生物資源
- P-20** ウシ副腎皮質細胞を用いた大黄中のコルチゾール産生抑制活性成分の探索
○桑原 直子¹、植木 毅¹、中村 友紀²、松尾 侑希子²、三卷 祥浩²、立川 英一³、山田 陽城⁴
¹東京薬大・薬・薬理学、²東京薬大・薬・漢方資源応用学、³東京薬大・薬・臨床薬剤学、⁴東京薬大・薬

審査グループ A(P-A1~P-A8)

示説時間帯：12:30~13:40

座長：佐藤 洋美（千葉大院・薬）

行方 衣由紀（東邦大・薬）

- P-A1 肝星細胞は交感神経刺激により収縮し肝類洞血流を調節する
○土肥直貴¹、岩見恭介¹、山口桃生¹、齊藤真也^{1,2}、石川智久¹
¹静岡県大院・薬・薬理、²岡山理科大・獣医
- P-A2 プロトン感知性 GPCR（GPR4）に着目した心筋梗塞時における pH 低下の生理的影響の解析
○荻野瑠星、伊藤峻太、渡 健治、長坂明臣、仲矢道雄、黒瀬 等
九州大・薬・薬効安全性学
- P-A3 ラット未熟児網膜症モデルにおいて観察される神経-グリア-血管連関の異常
○金子有紀¹、近藤 諒¹、中野歩希¹、浅野大樹¹、森田 茜¹、森 麻美¹、坂本謙司^{1,2}、中原 努¹
¹北里大・薬・分子薬理、²帝京大・薬・医薬品作用
- P-A4 ラット網膜の構造と機能維持における Na⁺/K⁺-ATPase の意義
○竹内成幸¹、浅野大樹¹、長岡巧樹¹、森田 茜¹、森 麻美¹、坂本謙司^{1,2}、中原 努¹
¹北里大・薬・分子薬理、²帝京大・薬・医薬品作用
- P-A5 TMEM16A は、脳微小血管内皮細胞における細胞増殖及び細胞遊走に関与する
○鈴木貴久、安本美貴、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男
名市大院・薬・細胞分子薬効解析学
- P-A6 セロトニンによるラット胸部大動脈平滑筋細胞内 Ca²⁺ 濃度上昇機序
○岸本みなみ、鳥居可鈴、寺田侑加、屋山勝俊
神戸学院大・薬・循環器薬理
- P-A7 自然発症高血圧ラットにおける AT₂ 受容体アゴニストによる高血圧発症抑制効果の検討
○五戸重耶、寺田侑加、屋山勝俊
神戸学院大・薬・循環器薬理

P-A8 ラット腸間膜動脈におけるセロトニンによる血管収縮機構
○柳瀬凌哉、寺田侑加、屋山勝俊
神戸学院大・薬・循環器薬理

審査グループ B(P-B1~P-B8)

示説時間帯：13:00~14:10

座長：中原 努（北里大・薬）

天ヶ瀬 紀久子（立命館大・薬）

- P-B1 逆流性食道炎モデルラットの病態における Transient Receptor Potential Vanilloid 2 (TRPV2) の関与
○末永美奈子、松本健次郎、加藤伸一
京都薬大・病態薬科・薬物治療
- P-B2 腸管マクロファージに発現する Transient Receptor Potential Melastatin 2 (TRPM2) の腸管線維化における役割
○中本智大¹、松本健次郎¹、森 泰生²、加藤伸一¹
¹京都薬大・病態薬科・薬物治療、²京都大・工・分子生物化学
- P-B3 胆汁酸を用いた新規機能性ディスぺプシア病態モデルマウス開発の試みーワサビ辛味成分アリルイソチオシアネート誘起胃運動減弱病態モデルとの比較ー
○濱島健斗、花島亜季、山本紗也佳、橋本和樹、田嶋公人、堀江俊治
城西国際大学・薬・薬理
- P-B4 マウス摘出遠位結腸標本における温度感受性 TRPM8 チャンネルを介した自発運動に対する抑制性制御：過敏性腸症候群モデルマウスにおける変化
○荒瀬由璃華、石原佑基、山川拓未、田嶋公人、堀江俊治
城西国際大・薬・薬理
- P-B5 デキストラン硫酸ナトリウムを用いた炎症後過敏性腸症候群モデルマウスの開発
○植松若那、西村嘉城、森 安大、田嶋公人、堀江俊治
城西国際大・薬・薬理
- P-B6 ワサビ辛味成分アリルイソチオシアネートを用いた遠位結腸運動低下モデルマウスの確立と消化管運動改善薬の結腸運動亢進作用の評価
○田部井 竣、趙 春暁、川上 舞、小日向紗季、田嶋公人、堀江俊治
城西国際大学・薬・薬理
- P-B7 漢方薬大建中湯によるラット胃粘膜血流増大の機序解析ー温度感受性 TRPV1 および TRPA1 チャンネルの関与と温服による作用発現の変化ー
○内木 蓮、吉久保匡甫、渡邊裕斗、大重茉里奈、田嶋公人、堀江俊治
城西国際大学・薬・薬理

P-B8 Nobiletin は膵 β 細胞機能障害を抑制することで糖尿病改善効果を示す
○梶 萌、金子雪子、多良勇輝、山本萌絵、石川智久
静岡県大院・薬・薬理

P-B9 オレキシン受容体拮抗薬レンボレキサントが肥満マウスの糖代謝異常に及ぼす影響の解析
○佐藤清史、恒枝宏史、今 寛太、和田 努、笹岡利安
富山大院・薬・病態制御薬理学

審査グループ C(P-C1~P-C7)

示説時間帯：12:30~13:40

座長：関口 富美子（近畿大・薬）

坂本 多穂（静岡県大院・薬）

- P-C1 三次元新鮮ラット肝細胞を用いた抗炎症薬の細胞傷害
○有木 中、當山介斗、谷野公俊
徳島文理大・薬・薬剤
- P-C2 病態時の薬物誘発性肝ミトコンドリア傷害因子の探索：一酸化窒素とシトクロム P450 酵素介在反応性代謝物
○當山介斗、根路銘真歩、橋本可那子、有木 中、谷野公俊
徳島文理大・薬・薬剤
- P-C3 肝星細胞に対する細胞性粘菌由来化合物 DIF-1 の作用解析
○大岡央¹、古川翔平^{1,2}、山口桃生¹、齊藤真也^{1,3}、菊地晴久⁴、石川智久¹
¹静岡県大院・薬・薬理、²京都薬品工業株式会社、³岡山理科大・獣医、⁴東北大院・薬
- P-C4 ミクログリアにおける Nrf2-ARE 経路活性化物質による炎症性サイトカインの抑制作用とその機序の解析
○立本 愛¹、泉 安彦¹、有福萌波²、堀内奈緒子¹、杉山峰是¹、井川紗央里¹、八巻耕也¹、久米利明^{2,3}、小山 豊¹
¹神戸薬大・薬理、²京大薬・薬品作用解析、³富山大院医薬・応用薬理
- P-C5 CYP3A4 発現 Caco-2 細胞を用いた P-gp と CYP3A4 活性の *in vitro* 同時評価系の確立
○吉友葵¹、浅野聡志^{1,2}、佐藤洋美¹、香月康宏³、樋坂章博¹
¹千葉大院・薬・臨床薬理学、²帝人ファーマ株式会社・薬物動態研究部、³鳥取大院・医学系研究科/染色体工学研究センター
- P-C6 遺伝子改変ヒト化マウスを用いた活性型ビタミン D₃ による腸管 CYP3A4 誘導の評価
○藤田菜生¹、佐藤洋美¹、落合雅俊¹、香月康宏²、小林カオル³、樋坂章博¹
¹千葉大院・薬・臨床薬理学、²鳥取大学・大学院医学系研究科/染色体工学研究センター、³千葉大院・薬・薬物学

P-C7 グリシントランスポーター1の遺伝子発現に影響を与えるアミノ酸により調節される細胞内シグナル伝達系

○内山博登^{1,2}、渡辺 俊^{1,2}、森田元樹^{1,2}、尾山実砂^{1,2}、岩井孝志^{1,2}、
田辺光男^{1,2}

¹ 北里大院・薬・薬理、² 北里大薬学部附属医薬研究施設

審査グループ D(P-D1~P-D9)

示説時間帯：13:00~14:10

座長：津田 誠（九州大院・薬）

山口 拓（長崎国際大・薬）

- P-D1** 急性ストレス負荷によるコカイン欲求行動増強における内側前頭前野ノルアドレナリン神経伝達の役割
○張 彤¹、和田進太郎¹、柳田淳子¹、笹瀬人暉¹、李 雪婷¹、上居寛典^{1,2}、堂本将輝¹、出山諭司¹、檜井栄一¹、山中章弘³、西谷直也⁴、永安一樹⁴、金子周司⁴、南 雅文²、金田勝幸¹
¹金沢大院・薬・薬理、²北海道大院・薬・薬理、³名古屋大・環医研・神経2、⁴京都大院・薬・生体機能解析
- P-D2** ダウン症モデル Ts65Dn マウスの精神行動の解析
○松田慧悟¹、倉内祐樹^{1,2}、村松 昌³、南 敬³、関 貴弘^{1,2}、香月博志^{1,2}
¹熊本大・薬・薬物活性学、²熊本大院・生命・薬物活性学、³熊本大院・生命・分子血管制御学
- P-D3** 抗がん薬白金製剤誘発悪心モデルマウスにおける制吐薬のパイカ行動に対する薬効評価
○北川礼代、田嶋公人、堀江俊治
城西国際大学・薬・薬理
- P-D4** Harmaline 誘発振戦に対するセロトニン神経系の制御機構
○前川華澄、塚本弥恵、山中美生、井上裕太、清水佐紀、大野行弘
大阪薬大・薬・薬品作用解析
- P-D5** 覚醒剤メタンフェタミンにより誘起されるマウスの行動量増加と脳内 cFos 発現における T 型カルシウムチャンネルの役割
○小池寧々¹、安井洋樹¹、関口富美子¹、田邊元三²、川畑篤史¹
¹近畿大・薬・病態薬理、²近畿大・薬・有機薬化学
- P-D6** 代理社会的敗北ストレスモデルにおけるうつ病類似症状の検出と治療薬候補薬物の検討
○大橋美咲、吉岡寿倫、小林里帆、岡野功太郎、山田大輔、斎藤顕宜
東理大院・薬・薬理

P-D7 ケタミンのセロトニン 5-HT_{2A} 受容体を介した抗うつ作用における行動学的アプローチ

○荒川真夕、衣斐大祐、高羽里佳、細見衣里、間宮隆吉、平松正行
名城大・薬・薬品作用学

P-D8 セロトニン 5-HT_{2A} 受容体刺激薬の抗うつ作用に関する神経ネットワークの探索

○高羽里佳、衣斐大祐、荒川真夕、細見衣里、間宮隆吉、平松正行
名城大・薬・薬品作用学

P-D9 コルチコステロン慢性投与マウスの情動行動異常に対する SSRI およびセロトニン 5-HT_{2A} 受容体アゴニストの急性投与による作用

○木下真帆、衣斐大祐、中齋玄紀、荒川真夕、高羽里佳、細見衣里、間宮隆吉、平松正行
名城大・薬・薬品作用学

審査グループ E(P-E1~P-E7)

示説時間帯：12:30~13:40

座長：小山 豊（神戸薬科大）

松尾 由理（北陸大・薬）

- P-E1 注意欠陥・多動性障害（ADHD）治療薬の小胞体ストレス誘発細胞死に対する保護効果
○榎原利佳、小菅康弘、堀越苑子、南郷拓嗣、宮岸寛子、石毛久美子
日本大・薬・薬理
- P-E2 Prostaglandin D₂の運動ニューロン様株化細胞 NSC-34 の神経突起伸長に及ぼす影響
○吉村奈菜、南郷拓嗣、小菅康弘、宮岸寛子、石毛久美子
日本大・薬・薬理
- P-E3 脳梗塞後神経細胞における DNA メチル化は細胞死を誘発する
○浅田真由美、林 秀樹、菊入健斗、村上健二郎、岩崎 良、高木教夫
東京薬大・薬・応用生化学
- P-E4 脳梗塞後の Progranulin の病態への関与
○堀之北一朗、林 秀樹、樗木りか、水村里沙、長友崇将、山口龍晃、高木教夫
東京薬大院・薬・応用生化
- P-E5 PM2.5 が胎児および小児の脳機能に与える影響
○河野玲奈、大柿安里、池谷裕二、小山隆太
東京大院・薬・薬品作用学
- P-E6 マイクログリアは海馬スライス培養においてカイニン酸誘導性の神経細胞死を軽減する
○荒木 匡、池谷 裕二、小山 隆太、
東京大院・薬・薬品作用学
- P-E7 ドネペジルの Sorting Nexin 33 発現量上昇を介した A β 抑制作用
○竹中 未紗¹、高鳥 悠記¹、木全 璃子¹、泉安彦^{2,3}、赤池 昭紀^{2,4}、
久米 利明^{2,5}、土田 勝晴¹
¹ 同女大・薬・創薬理論科学、² 京都大・院薬・薬品作用解析学 ³神戸薬大・薬
理学、⁴和歌山県立医大、⁵富山大・院薬・応用薬理学

審査グループ F(P-F1~P-F9)

示説時間帯：12:30~13:40

座長：大野 行弘（大阪薬科大）

金田 勝幸（金沢大院・薬）

- P-F1 Butyrate 誘起過敏性腸症候群モデル動物の内臓知覚過敏における温度感受性 TRP チャンネルの関与
○西村嘉城、荒瀬由璃華、植松若那、山川拓未、田嶋公人、堀江俊治
城西国際大・薬・薬理
- P-F2 エストロゲンはパクリタキセル誘発性末梢神経障害に対して抑制的に作用する：マクロファージ由来 HMGB1 との関係について
○貫戸綾乃¹、平本志於里¹、宮本朋佳^{1,2}、坪田真帆¹、小泉祐一²、西堀正洋³、川畑篤史¹
¹近畿大・薬・病態薬理、²(医)生長会 府中病院薬剤部、³岡山大院・医歯薬・薬理
- P-F3 Repagermanium 水解物 3-(trihydroxygermyl)propanoic acid (THGP) は H₂S に直接作用し外因性および内因性 H₂S によるアロディニアを抑制する
○杉本果歩¹、小池寧々¹、島田康弘²、佐藤克行²、中村宜司²、山口浩明³、田邊元三⁴、関口富美子¹、川畑篤史¹
¹近畿大・薬・病態薬理、²浅井ゲルマニウム研、³山形大院・創薬科学、⁴近畿大・薬・有機薬化学
- P-F4 医療ビッグデータ解析と基礎研究を融合した抗がん剤誘発末梢神経障害の予防薬開発
○新村貴博¹、座間味義人^{1,2}、内藤優太郎¹、川尻雄大³、合田光寛²、武智研志⁴、中馬真幸⁴、堀ノ内裕也⁵、石澤有紀⁶、池田康将⁵、石澤啓介^{1,2}
¹徳島大院・医歯薬・臨床薬理、²徳島大学病院・薬剤部、³九州大院・薬・臨床育薬、⁴徳島大学病院・臨床試験管理センター、⁵徳島大院・医歯薬・薬理、⁶徳島大学・AWA サポートセンター
- P-F5 炎症性疼痛時における時期ごとの脊髄スルファチドの役割
○森田元樹^{1,2}、渡辺 俊^{1,2}、野村夏実^{1,2}、尾山実砂^{1,2}、岩井孝志^{1,2}、田辺光男^{1,2}
¹北里大院・薬・薬理、²北里大薬学部附属医薬研究施設

- P-F6 慢性搔痒モデルマウスでは脊髄後角 GRPR 陽性神経への興奮性シナプス入力が増加する
○兼久賢章、古賀啓祐、白鳥美穂、津田 誠
九州大学院・薬・ライフイノベーション
- P-F7 ヘアレスマウスを用いた新規アトピー性皮膚炎モデルの開発とその病態解析
○岡 真純、田中智之、藤井正徳
京都薬大・病態薬科学系薬理学
- P-F8 ガバペンチノイドのクリーム塗布による神経障害性疼痛緩解作用
○山田望美、尾山実砂、吉川茉友子、渡辺俊、岩井孝志、田辺光男
北里大・薬・薬理
- P-F9 ミロガバリンはクロロキン誘発性急性搔痒を抑制する
○別宮洗亮、山田望美、尾山実砂、渡辺俊、岩井孝志、田辺光男
北里大・薬・薬理